

パブリック・サービス研究分科会

講義年月日 2009年5月11日 午後1時30分～2時30分

講演者 慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス SFCメディアセンター係主任

レファレンス担当 保坂 睦氏

テーマ 「資料検索法：図書館スタッフによる授業運営の実際」

講義内容

90年代に図書館情報学の資料検索法という授業として始まり、2004年に図書館員に引き継がれ教員によらない授業として始まった。(現在は市古みどりが非常勤講師として委嘱)

授業での目標とすることは、大学における学習や研究において必要な情報に、適切かつ効率的にアクセスし、法的倫理的に正しく情報を入手し評価し、取捨選択しながら活用することが出来るようになることである。

1. 「資料検索法」概要

カリキュラム内位置付け：創造支援系科目・創造技法科目ーナレッジスキル

2単位の授業（学問に必要な授業の一環として位置付けられている）で履修制限はない

内容：シラバスの公開（学内）

科目の概要・授業の目標・教材・成績のつけ方・履修上の注意等掲載し授業計画をする。

4～7月迄 全13回

- (1) オリエンテーション
- (2) 情報の種類と特徴
- (3) 検索概念・検索のテクニック（基礎）
- (4) 資料の探し方と入手方法
- (5) 法廷判例の探し方
- (6) 統計情報の探し方
- (7) レポートの書き方・引用の方法
- (8) 文献情報の管理

等の授業を行ない課題の解説・まとめと自己点検の評価をする。

2. スタッフの準備作業と業務サイクル

- ・2月末から3月初めに授業計画をし、担当者を決めシラバスの入力をする。
- ・SA（スチューデントアシスタント）を学生DBコン（データベースコンサルタント）から募集をする。
- ・サイトを準備して立ち上げ公開する。[<http://info-literacy.sfc.keio.ac.jp>]
- ・4月からそれぞれの担当ごとにパワーポイントの資料を作り授業を進めていくこととなる。
- ・模範解答を準備して演習課題（毎年テーマは変更）を多く出している。
- ・最終テーマとして今年度は文献リストの提出を予定している。
- ・その他に小テストとして学生がシステムに入力し成績評価の材料とする。
- ・授業の評価（学生からの授業評価付け）を学生に公開している。

スタッフ：講師1名+メディアセンタースタッフ3～5名+スチューデントアシスタント(SA)2名

<参考文献>

1. 上岡 真紀子, 市古 みどり. 図書館員による情報リテラシー教育 ～現在・過去・未来 (特集 : 情報リテラシーの育成と図書館サービス) . 現代の図書館. 2007, vol. 45, no. 4, p.226-233
2. 市古 みどり. 大学図書館は学びに貢献できるか? 「KITIE」と「資料検索法」. 丸善ライブラリーニュース. 2008.5, no. 復刊 2, p. 6-7
http://www.maruzen.co.jp/business/edu/lib_news/pdf/library_news152_06-07.pdf
3. 市古 みどり. “「情報リテラシー教育」のすすめ : 「KITIE」を使った授業の一例”. 平成 19 年度公立大学協会図書館協議会研修会. 名古屋市立大学, 2007/8/3.
<http://www.soc.nii.ac.jp/pula/33kenshu/ichiko.pdf>
4. 市古 みどり. “慶應義塾大学における情報リテラシー教育 : KITIE、日吉、資料検索法を中心に”. 私立大学図書館協会 PS 分科会. 2007/3/12.
<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/public/2006-2007/pdf/PS200703-1.pdf>
5. 保坂 睦、岡田 孝子, 園原 真理. “授業で考える情報リテラシー : 「資料検索法」実施を通じて”. 慶応義塾大学全塾メディアセンター研修会. 2006/11/24.
<http://www.lib.keio.ac.jp/kenshu/pdf/2006/5literacy.pdf>

以上